



Cat[®] 336F/F L

油圧ショベル

2017

336F Lは、生産性の向上と所有コストとオペレーティングコストの削減を目指して製造されました。さらに、出力、燃料効率、信頼性など、成功に必要な要素をすべて備えています。

作業性能

- C9.3 ACERT™エンジンは、オフロード法2014年 (Tier 4 Final) 排出ガス基準に適合しています。
- オートマチックエンジンスピードコントロールが負荷に応じて回転数を下げ、燃料消費量を低減します。
- 複数のパワーモードで、燃料消費量を積極的に管理します。

Cat[®] Connectテクノロジー

- CAT Connectテクノロジーソリューションは、LINK、GRADEおよびDETECTテクノロジーを提供することにより、生産性を向上し、オペレーティングコストを最低限に抑え、投資利益を最適化します。
- VisionLink[®]では、車両の位置、稼働時間、非稼働時間、燃料消費量、生産性、診断コードなどの車両運転データに無線でアクセスできるため、車両性能を最適化します。
- Catグレードコントロールから切崩し/埋戻し情報をリアルタイムで提供するため、勾配や傾斜を従来よりもすばやく正確に造成できます。

メンテナンス

- 給脂箇所やフルードタップなどの日常メンテナンス箇所には、地上から楽に手が届きます。
- 並列クーリングシステム装備で清掃が容易です。
- 複数のS-O-SSMポートと圧力診断タップを備え、メンテナンス時の休車時間を短縮します。

快適性

- フルサイズの転倒時運転者保護構造 (ROPS、Roll-Over Protective Structure) 認定キャブは、静かで快適。
- ジョイスティックコンソールとアームレストは調整可能。シートは調整式で、エアサスペンションと冷暖オプション付きをご用意。
- LCDモニターは操作が簡単で、44言語でプログラミング可能。

汎用性

- Catシャー、マルチプロセッサにより、解体作業をすばやく簡単に完了。
- 専用のCatバケットとハンマーで採石作業にも難なく対応。
- カブラを装備しているため、キャブを降りなくても、アタッチメントを瞬時に交換可能。
- ツールコントロールオプションは、最大20件のツール流量と圧力を記憶するため、稼働時間を延長。

耐久性

- ブームとスティックは耐用年数の延長を目指して製造。
- 高い負荷のかかる部分には、多板構造、鋳造品、鍛造品を使った箱型断面構造を採用。トラックシュー、リンク、ローラ、アイドラ、ファイナルドライブは、引張り強度の高い鋼製です。
- グリース潤滑式のトラックリンクをピンとブッシュの間に配備し、足回りの寿命を延長するとともに騒音を低減。

安全性

- リアビューカメラにより良好な視界を確保し、より効果的、効率的に作業を遂行。
- 延長されたハンドレールとガードレールがデッキ昇降時の安全性を確保し、滑り止めプレートがあらゆる天候で滑る危険を低減。



オフロード法2014年
基準適合

Cat® 336F/F L油圧ショベル

エンジン

エンジン名称	Cat C9.3 ACERT
定格出力 (グロス) – SAE J1995	238 kW
定格出力 (ネット) – SAE J1349	228 kW
内径	115 mm
行程	149 mm
総行程容積	9.3 L

車両質量

最小質量*	34,700 kg
最大質量**	39,000 kg

*6 mtカウンタウエイト、標準アンダキャリッジ、リーチブーム、R3.2 mスティック、600 mm TGシュー。 -

**7 mtカウンタウエイト、HDロングアンダキャリッジ、マスブーム、M2.55 mスティック、800 mm TGシュー。

油圧系統

メインシステム – 最大流量 (合計)	570 L/min
スイングシステム – 最大流量	279 L/min
最大圧力 – 作業機	35,000 kPa
最大圧力 – 走行時	35,000 kPa
最大圧力 – 旋回時	28,000 kPa
パイロットポンプ最大吐出量	29 L/min
パイロットシステム – 最大圧力	4,100 kPa

走行

最高走行速度	4.8 km/h
最大けん引力	294 kN

交換時の容量

燃料タンク容量	620 L
冷却水	43 L
エンジンオイル (フィルタ付き)	32 L
旋回モータ (片側)	19 L
ファイナルドライブ (片側)	8 L
作動油 (タンクを含む)	380 L
作動油タンク	175 L
尿素水タンク	41 L

スイング

旋回速度	8.9 rpm
旋回モーメント	109 kN-m

寸法

ES & HDリーチ ブーム

ブームオプション	6.50 m
スティックオプション	R3.2DB
全高 (輸送時)	3,470 mm
全長 (輸送時)	11,140 mm
後端旋回半径	3,460 mm
ローラの中心間距離 – 標準足回り	3,605 mm
ローラの中心間距離 – ロング足回り	4,040 mm
トラック長さ – 標準足回り	4,590 mm
トラック長さ – ロング足回り	5,030 mm
最低地上高*	480 mm
クローラ中心距離	2,590 mm
全幅 (輸送時) – 800 mmシュー	3,390 mm
キャブ高さ	3,160 mm
キャブ高さ (トップガード装着時)	3,360 mm
カウンタウエイト下端高さ*	1,220 mm
*シューラグの高さを含まず	

作業範囲

ES & HDリーチ ブーム

ブームオプション	6.50 m
スティックオプション	R3.2DB
バケットオプション	1.5 m ³
最大掘削深さ	7,390 mm
最大床面掘削半径	10,920 mm
最大掘削高さ	10,280 mm
最大ダンプ高さ	7,210 mm
最小ダンプ高さ	2,710 mm
2,440 mmのレベル ボトムでの最大切削深さ	6,700 mm
最大垂直掘削深さ	6,070 mm

Cat製品、ディーラーのサービス、各業界向けソリューションの詳細については、www.cat.comをご覧ください。

© 2017 Caterpillar
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の車両には、オプション装備品が装着されていることがあります。装備可能なオプションについては、Catディーラーにお問い合わせください。

CAT, CATERPILLAR, SAFETY.CAT.COM, それらの各ロゴ、"Caterpillar Yellow"および"Power Edge"のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

VisionLinkはTrimble Navigation Limitedの商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には、事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン以上の「車両系建設機械（整地、運搬、積込、掘削用および解体用）」の運転には、登録教育機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXQ1903-01
置き換え AJXQ1903
(Japan)

